

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所
資料配布

配布日時	平成25年2月25日 14時00分
------	----------------------

件名	足羽川ダムの環境影響評価の手続きを完了 ～足羽川ダム建設事業環境影響評価書の公告・縦覧～
----	---

概要	<p>国土交通省近畿地方整備局は、環境影響評価法に基づき、九頭竜川水系足羽川ダム建設事業の環境への影響について調査、予測及び評価を実施するとともに、住民や福井県並びに国からの意見を踏まえて、「環境影響評価書」をとりまとめました。</p> <p>この度、評価書を官報告示により2月27日に公告し、関係機関の協力を得て、以下のとおり縦覧を開始します。</p> <p>○縦覧期間：平成25年2月27日～平成25年3月27日</p> <p>○縦覧場所：近畿地方整備局 情報公開室 足羽川ダム工事事務所（閲覧室・ホームページ）、 福井県庁、福井市役所、福井市美山総合支所、 池田町役場、池田町下池田支所 ほか</p>
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 福井県政記者クラブ
------	------------------------------------

問合せ先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川環境課 課長補佐 ^{やまもと}山本 ^{いくお}育夫 TEL 06 - 6942 - 1141（代表） TEL 06 - 6942 - 0608（直通）</p> <p>国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 副所長 ^{あずま}東 ^{しげみつ}繁光 TEL 0776 - 27 - 0642（代表）</p>
------	---

九頭竜川水系足羽川ダム建設事業 環境影響評価書の公告・縦覧について

1. 評価書の公告

平成25年2月27日に官報に公告します。

2. 評価書の縦覧

(1) 縦覧期間

平成25年2月27日(水)～平成25年3月27日(水) 土曜日、日曜日、祝日を除く※

(2) 縦覧方法等

「評価書」、「評価書要約書」は下記の縦覧場所において縦覧できます。

これら「評価書」等はホームページでもご覧いただけます。

(足羽川ダム工事事務所ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>)

(3) 縦覧場所及び縦覧時間

縦覧場所	住所	縦覧時間
①国土交通省 近畿地方整備局 総務部総務課 情報公開室	大阪市中央区大手前1丁目5番4号 大阪合同庁舎第1号館	9:15～16:45
②国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 閲覧コーナー	福井市成和1丁目2111番地	8:30～17:15
③福井県 土木部 河川課	福井市大手3丁目17番1号	8:30～17:00
④福井県福井合同庁舎 福井県税事務所	福井市松本3丁目16番10号	8:30～17:00
⑤福井市 建設部 河川課	福井市大手3丁目10番1号	8:30～17:15
⑥福井市役所 美山総合支所 振興課	福井市美山町7番1号	8:30～17:15
⑦池田町役場 閲覧コーナー	福井県今立郡池田町稲荷 第35号4番地	8:30～17:30
⑧池田町役場 下池田支所	福井県今立郡池田町千代谷 第15号6番地3	8:30～17:30
⑨池田町能楽の里文化交流会館町立図書館	福井県今立郡池田町藪田 第5号1番地	10:00～17:00 日曜日は16:00まで

※なお、⑨は月曜日、火曜日、第三日曜日、祝日は休館のため縦覧できません。

3. 問い合わせ先

評価書の公告・縦覧及び足羽川ダム建設事業について

近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所 副所長 あずま しげみつ 東 繁光

〒918-8239 福井市成和1丁目2111番地

TEL: 0776-27-0642、FAX: 0776-27-0643

環境影響評価法の手続きについて

近畿地方整備局河川部河川環境課 課長補佐 やまもと いくお 山本 育夫

〒540-8586 大阪市中央区大手前1丁目5番44号

TEL: 06-6942-1141 (代表)、06-6942-0608 (直通)

FAX: 06-6942-5693

足羽川ダムの環境影響評価書について

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所では、足羽川ダムを建設するにあたり、事業実施区域周辺の生活環境や自然環境にできる限り配慮した計画とするため、環境影響評価法に基づき環境影響評価を実施しました。

このたび、環境への影響について、調査、予測及び評価を実施するとともに、事業に関係する住民、福井市、池田町及び福井県並びに国からの意見を踏まえて、「環境影響評価書」として整理し、環境の保全に関する事業者の考え方をとりまとめました。

環境影響評価の実施について

足羽川ダムの事業の実施にあたっては、事業実施区域周辺が自然環境の豊かな地域であり、クマタカなどの野生生物の重要な生息地・生育地であることから、事業者自らの判断により環境影響評価法に基づく手続きを実施するものとなりました。

環境影響評価の主な内容及び手続きの流れを以下に示します。

環境影響評価の主な内容

環境影響評価の手続きの流れ

現地調査

現地の自然環境・生活環境の把握

クマタカ等の猛禽類調査 (平成7年～平成24年)
魚類・底生動物調査 (昭和60年～平成22年)
他の動植物、水文・水質、地下水、気象、騒音振動、景観等の現地調査を実施

調査・解析

GISソフトによる調査結果の解析

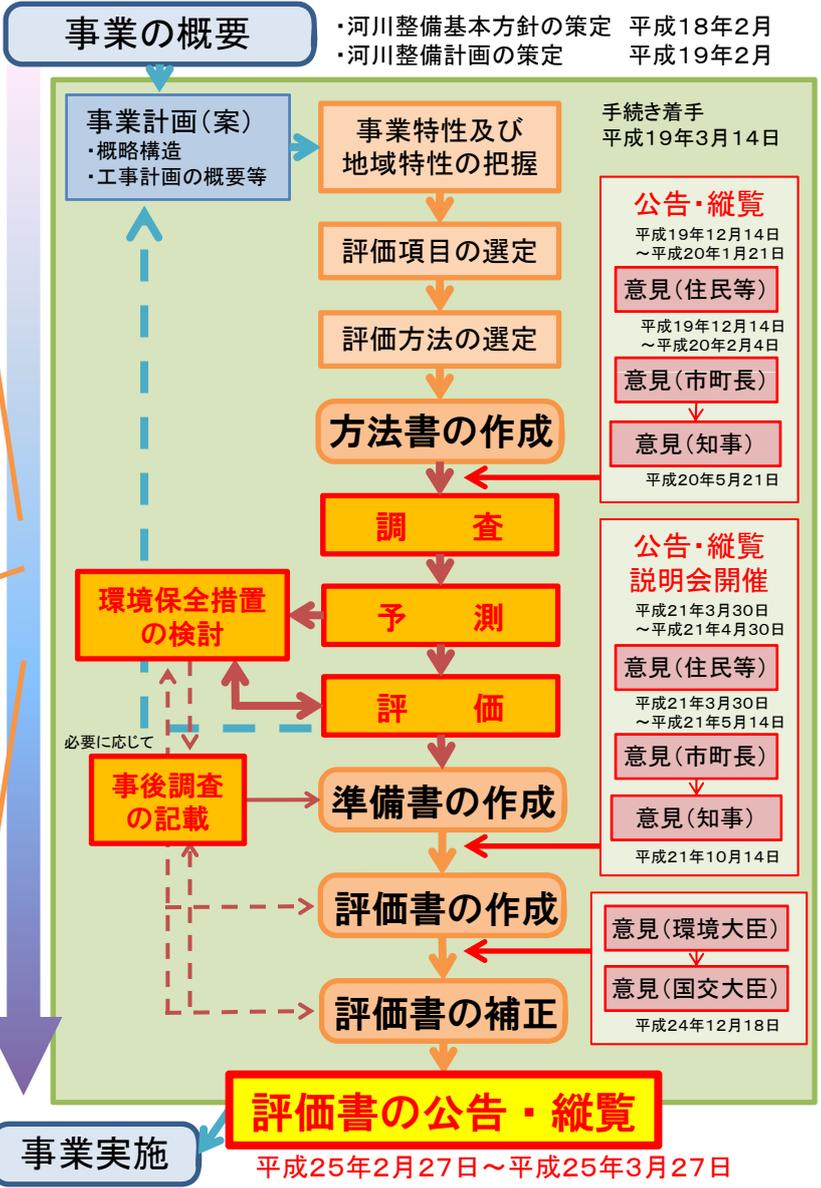
事業区域内の植生区分等を把握

植生区分図	落葉広葉樹林(杜齢林) 改変 0ha (0%)	落葉広葉樹林(左以外) 改変 19ha (0.2%)
	スギ・ヒノキ植林 改変 78ha (0.9%)	耕作地(水田) 改変 44ha (4.2%)

予測・検討

数式モデルによる影響の予測

濁質の動きのイメージ
ダム洪水調節地をモデル化
鉛直二次元モデル
ダム放流SSの予測
高濃度濁水の発生
環境保全措置の効果を検討

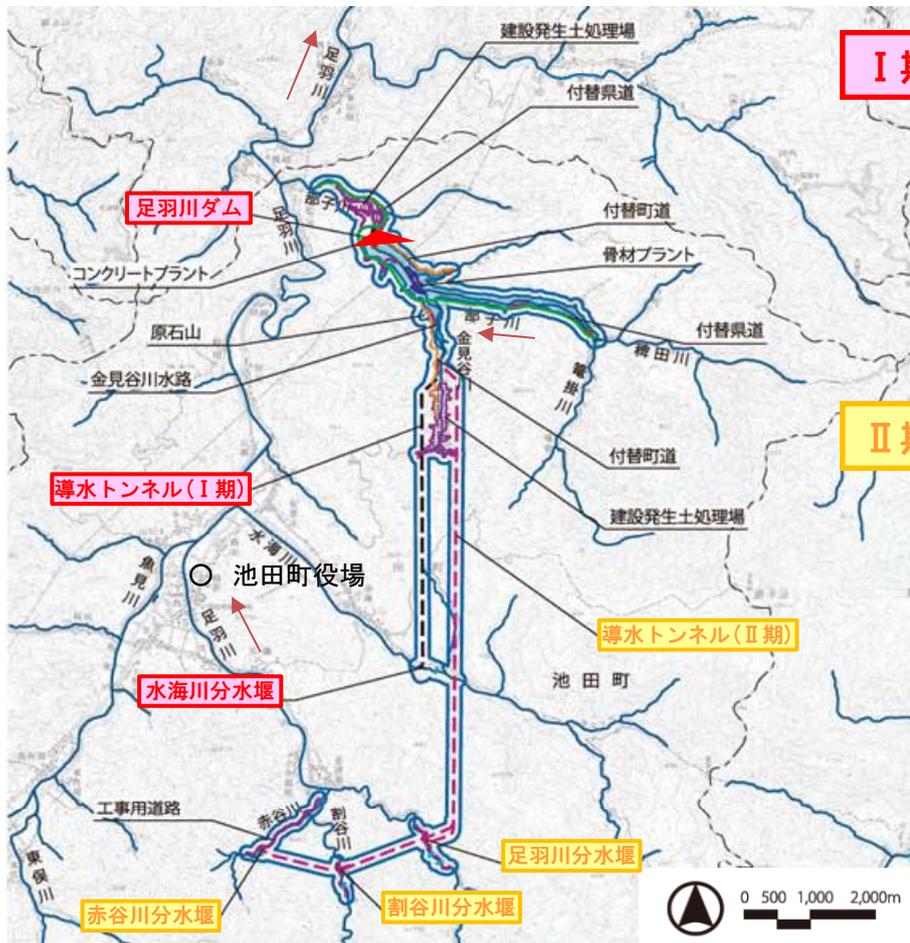


足羽川ダム建設事業について

・目的
洪水調節：足羽川、日野川、九頭竜川下流域における洪水被害の軽減

・ダムの諸元等
位置：福井県今立郡池田町小畑地先
(九頭竜川水系足羽川支川部子川)
形式：重力式コンクリートダム
総貯水容量：約2,870万 m³
集水面積：約105 km²
貯水面積：約94 ha

足羽川ダムの工事内容



I 期工事 戦後最大規模の洪水 (H16.7福井豪雨) を安全に流す

- ・ダム堤体 堤高：約96m
堤頂長：約460m
- ・導水トンネル (I 期) 延長：約5km
- ・水海川分水堰

II 期工事 今後生起する可能性がある洪水を安全に流す

- ・導水トンネル (II 期) 延長：約11km
- ・足羽川分水堰
- ・割谷川分水堰
- ・赤谷川分水堰

- 凡例
- ▲：ダム堤体
 - ：ダム洪水調節地
 - ：対象事業実施区域
 - ：市町村界
 - ：河川
 - ：建設発生土処理場予定地
 - ：原石山予定地
 - ：施工設備予定地
 - ：導水施設 (I 期) 予定地
 - ：導水施設 (II 期) 予定地
 - ：付替県道予定ルート
 - ：付替町道予定ルート
 - ：工事用道路予定ルート

(参考) 福井豪雨 (平成16年7月) における被害状況



浸水被害と救助作業 (福井市春日地区)



堤防の破堤 (福井市春日地区)



鉄道橋脚の転倒 (JR第3号橋梁・旧美山町)

■ 事業者が実施する環境保全措置について

足羽川ダム建設事業の実施に係る環境影響をできる限り回避又は低減するとともに、国、福井県及び池田町が定める環境基準等の達成に努めることを目的に、環境の保全のための措置（以下「環境保全措置」）を検討しました。

検討にあたっては、専門家の指導及び助言を得ながら、複数の案の比較検討や新しい技術の取り入れなどを行いました。

事業者が実施する主な環境保全措置の内容を以下に示します。



クマタカの保全

- 重要性
 - ・「種の保存法」: 国内希少野生動植物種
 - ・「環境省レッドリスト」: 絶滅危惧ⅠB類
 - ・「福井県レッドデータブック」: 県域絶滅危惧Ⅰ類
- 分布
 - ・本種は、北海道、本州、四国及び九州に留鳥として繁殖する。福井県では、里山から山地にかけて広く分布している。

環境保全措置(工事中)

- ・繁殖活動に影響を与える時期には、必要に応じて工事を一時中断します。
- ・低騒音・低振動の工法を採用するとともに、アイドリングを停止します。
- ・作業員の出入りや工事用車両の運行に配慮します。

アジメドジョウの保全

- 重要性
 - ・「環境省レッドリスト」: 絶滅危惧Ⅱ類
 - ・「福井県レッドデータブック」: 県域絶滅危惧Ⅱ類
- 分布
 - ・本種は、中部及び近畿地方の府県に分布する。日本特産である。福井県では、九頭竜川水系や河野川、笙の川に分布するが、年々生息数は減少している。



環境保全措置(ダム完成前(試験湛水前))

専門家の指導・助言を得ながら実施計画を策定し、ダム下流河川に濁水からの避難場所を整備します。

ヤマシャクヤク、エゾナニワズなどの保全



ヤマシャクヤク

- 重要性
 - ・「環境省レッドリスト」: 準絶滅危惧
 - ・「福井県レッドデータブック」: 県域絶滅危惧Ⅱ類
- 分布
 - ・本種は、本州(関東地方以西)、四国、九州に分布する。福井県では、生育地は限られ、個体数が少ない。園芸採取の対象となってきたために減少した。



エゾナニワズ

- 重要性
 - ・「福井県レッドデータブック」: 県域準絶滅危惧
- 分布
 - ・本種は、樺太、北海道から本州中部まで分布する。福井県が日本における分布の南西限にあたり、県内で確認された個体数や産地が少ない種である。

環境保全措置(工事中)

生育適地に個体を移植します。

上記の2種のほかに、イワウメズル、ミゾハコベ、ミズマツバ、ミヤマタゴボウ、アブノメ、エビモ、イチョウウキゴメについて、移植・挿し木・表土の撒きだし等の環境保全措置を実施します。

河川環境の保全

- ・「環境基本法」: 河川A類型
浮遊物質 25mg/L以下
(天神橋上流の足羽川)
- ・「池田町の水を清く守る条例」
: 水源保護地域(町全域)



足羽川
(福井市高田町)

環境保全措置(工事中)

掘削面からの濁水を河川に流さないように沈砂池を設置します。

環境保全措置(ダム完成後)

導水トンネルを活用し、水海川・足羽川から清澄な水を導水します。

このほか、工事中の建設機械や工事用車両に係る騒音・振動対策や、工事に伴う伐採木などの建設副産物の発生抑制や再生利用の促進などを行います。

事業の実施にあたっては、河川の水質・水温、地下水の水位、及び動植物の生息・生育状況のモニタリング調査などを行います。

また、クマタカ等の保全の実施にあたっては、より適切な環境への配慮を行うため、工事中やダム建設後の環境保全措置に係る環境調査(「事後調査」)を実施し、結果を公表します。

環境影響評価の検討にあたって

足羽川ダム建設事業では、環境影響評価の検討にあたり、専門家より指導・助言を得ることを目的として、「足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会」（以下「技術検討委員会」）及び鳥類部会等を設置し、検討を重ねてきました。

技術検討委員会は、以下に示す14名の委員により構成され、計9回の技術検討委員会及び鳥類部会等を開催しました。委員会等の開催日と主な議事内容並びに委員名簿を以下に示します。

委員会等の開催日と審議内容

会議	開催日	内容
第1回委員会	平成19年4月19日(木)	事業概要、周辺地域の概況等
現地視察会	平成19年5月2日(水) 平成19年5月7日(月)	現地視察(ダム本体及び関連施設周辺)
第1回鳥類部会	平成19年5月17日(木)	調査の手法(鳥類・生態系上位性)
第1回検討会	平成19年5月22日(火)	調査の手法(動植物・生態系)
第2回鳥類部会	平成19年6月14日(木)	予測評価の手法(鳥類・生態系上位性)
第2回検討会	平成19年6月14日(木)	予測評価の手法(動植物・生態系)
第3回検討会	平成19年7月13日(金)	予測評価の手法(水質・地下水・下流物理環境)
第2回委員会	平成19年8月9日(木)	方法書(案)
第3回委員会	平成20年7月3日(木)	方法書意見に対する事業者の考え方 環境影響評価項目・調査、予測及び手法の選定
第3回鳥類部会	平成20年11月11日(火)	予測評価・保全措置(鳥類(陸域))
第4回検討会	平成20年11月11日(火)	予測評価・保全措置(動植物(陸域))
第4回委員会	平成20年12月3日(水)	予測評価・保全措置 (大気・地形・地質・景観・廃棄物等・動植物(陸域))
第5回検討会	平成21年1月26日(月)	予測評価・保全措置(水質・地下水)
第4回鳥類部会	平成21年1月29日(木)	予測評価・保全措置(鳥類(河川域))
第6回検討会	平成21年1月30日(金)	予測評価・保全措置(動植物(河川域)・生態系)
第5回委員会	平成20年2月14日(土)	予測評価・保全措置 (水質・地下水・動植物(河川域)・生態系・人触れ) 準備書(案)
第6回委員会	平成21年6月4日(木)	住民意見に対する事業者の考え方
第7回委員会	平成21年11月18日(水)	福井県知事意見に対する事業者の考え方 評価書(案)
現地視察会	平成24年8月28日(火)	現地視察(ダム本体及び関連施設周辺)
第8回委員会	平成24年8月28日(火)	準備書以降の自然環境 評価書(案)
第9回委員会	平成25年1月30日(水)	国土交通大臣意見に対する対応方針 保全措置(廃棄物等(伐採木)) 補正評価書(案)

現地視察会
(平成24年8月28日)の状況



第9回技術検討委員会(平成25年1月30日)の開催状況

委員名簿

委員氏名	担当分野	現職等
奥村 充司	水環境 (水質)	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
◎ 福原 輝幸	水環境 (地下水の水位)	福井大学大学院工学研究科 教授
安達 誘	付着藻類	福井陸水生物研究会 会員
加藤 文男	魚類 生態系	元仁愛女子短期大学 教授
下野谷 豊一	陸上昆虫類	日本鱗翅学会 会員
西垣 正男	哺乳類	福井県農林水産振興課 主任
長谷川 巖	爬虫類・両生類 ・陸産貝類	福井県両生爬虫類研究会 会長
林 武雄	鳥類 (鳥類部会長)	日本鳥類保護連盟福井県支部長
上木 泰男	鳥類	日本鳥類保護連盟
久保上 宗次郎	鳥類	猛禽類研究家
松村 俊幸	鳥類	福井県海浜自然センター 次長
前田 正紀	底生動物	元仁愛女子短期大学 准教授
渡辺 定路	植物 生態系	元福井市自然史博物館 館長
角 哲也	河川物理環境	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター教授

◎:委員長

おわりに

「足羽川ダム建設事業環境影響評価書」等はホームページでもご覧いただけます。
(足羽川ダム工事事務所ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>)

今後も、地域の生活環境や自然環境に配慮しながら、足羽川ダム建設事業を進めてまいります。

【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 TEL 0776-27-0642